

まけないぴろたん へこへこまがじん

責任編集

おんどりや
雄鶏屋ほんだわら

このウェブマガジンは名張市議会議員の
福田博行先生を応援させてもらってます。
頑張れ～！ 樋渡啓祐先生も頑張れ～！

第1号

「それで名張市議会の先生がたによる視察の件なんですけど」

「たしか佐賀県でしたか」

「九人の先生がたが武雄市にいらっっしゃいます」

「図書館で有名になったまちですね」

『伊賀別筆』第一号の漫才でその視察のことに触れたんですけど中途半端に終わったのを遺憾といたします」

「君そんなんばっかりですか」

「名張市の議会事務局に質問のメールをお出ししたのが十月二十一日です」

「またそんなことしたんですか」

「清風クラブと公明党の先生がたが武雄市へ視察にいらっっしゃるゆうのはほんまどっしやるか」

「そんなメールほとんど公務執行妨害やと思いますけど」

「翌日お答えを頂戴しました」

「事務局のみなさんも大変です」

「九人の先生がたから武雄市で『武雄市図書館の運営』と『武雄市の教育改革』について政務活動費を用いた視察を十月二十九日に実施すると議長さんあての届けが出されてますゆうよなことでした」

「そしたらやっぱり」

「清風クラブ五人と公明党四人の合計九人の先生がたが十月二十九日に政務活動費で武雄市を視察なさいました」

「先生がたどうも苦勞さまでした」

『伊賀別筆』第一号をネット上で公開したのは十月三十一日土曜日の早朝のことでした」

「視察の二日後ですか」

「十月三十日には清風クラブの福田博行先生がご自分のブログに『佐賀県武雄市に視察ほか』という記事を発表していらっしやっただけです」

「視察のご報告ですね」

「その記事を拝見する前に『伊賀別筆』第一号を公開する結果になりましたね」

「日程的に押せ押せでしたか」

「ですから『伊賀別筆』第一号では福田先生による視察のご報告に触れることができませんでした」

「それで福田先生のご報告はどんなんですか」

「なにしろ絶好の行楽シーズンでしたからびろたんはもう大はしゃぎ」
「はしゃいでどないしますねん」